

- ・遺骨帰還事業
インドネシアに2名派遣
- ・日本遺族会主催の戦跡慰霊巡拝事業(参加者少なく延期)
- 2 処遇改善運動の推進**
 - ・岡山県遺族代表者大会や全国遺族大会を通じて、県や国に要望活動を行った結果、公務扶助料等の増額や特別弔慰金の継続増額が実現した。
- 3 組織の充実強化**
 - ・女性部・青年部研修会
「平和の語り部」の実践をテーマに実施した。参加者48名
 - ・合同研修会
山口方面で一泊二日の日程で実施 参加者31名
 - ・中国・四国ブロック会議
高知県で開催された同会議に大月理事長ら4名参加。また、徳島県で開催されたブロック研修会に女性部長・青年部長ら5名が参加した。
 - ・平和の語り部事業への取組
県連盟では、平和祈念館を活用して3回(小学校1、中学校2)実施。各遺族会では学校等5回、忠魂碑で2回実施。
 - ・県遺族通信を年2回発行
 - ・高齢者の福祉充実に関する事業
 - *百歳長寿の祝い 2名
 - *一人暮らし妻慰問 6名

4 岡山平和祈念館

* 遺影	7,900件
* 遺品	500件
* 入館者数	1,889人

5 各種会議

・ 常任理事会	3回
・ 理事会	3回
・ 評議員会	2回
・ 監査会	1回
・ 女性部会議	1回
・ 女性部幹事会	2回

全国戦没者追悼式
岡山県遺族六十名参列

終戦から80年目を迎えた8月15日、日本武道館で政府主催の全国戦没者追悼式が挙行され、岡山県からは県連盟の三宅禎浩理事長をはじめ、遺族代表60名が参列しました。

献花は、岡山県参列者中で最高齢の羽根岡洋子(86歳)さんと、高松農業高校2年の河原正太郎さんが行いました。



県連盟合同研修会を開催

県連盟は岡山県の補助を受けて、令和7年度合同研修会を5月27日(火)から2日間京都方面で大月理事長をはじめ33名が参加して実施しました。

初日は、兵庫県加西市の旧海軍鷲野飛行場跡に整備されている「SORAかさい」を見学した後、京都衣笠にある立命館大学の「国際平和ミュージアム」を見学するとともに、戦争体験者の馬場央さんから出征兵士のお話などをお聞きしました。



(ミュージアムのエントランスにて)
翌日は、京都霊山護国神社

の正式参拝や京都御所の見学等を行い帰路につきました。

戦没者遺族慰霊研修事業
靖国神社みたままつりへ

県連盟は7月16日(水)から17日(木)にかけて、靖国神社のみたままつりにあわせ、岡山県の補助事業で令和7年度戦没者遺族慰霊研修事業を実施しました。

参加者44名は、初日に靖国神社及び千鳥ヶ淵戦没者墓苑の集団参拝を行いました。

翌17日は、九段会館テラスの日本遺族会会議室にて、日本遺族会の水落敏栄会長の「遺族会の歴史」と題した講演を受講しました。講演後、質問が相次ぐなど、実り多い研修となりました。



(日本武道館を望む会議室)